

12月20日付 京都新聞 23面



車いすで楽しむ 天橋立の眺望

観光モニターツアー

宮津市の名勝・天橋立などを車いすで巡る「バリアフリー観光」のモニターツアーが19日、宮津市内で行われ、参加者が介助者とともに傘松公園からの絶景を楽しんだ。

ツアーは来年度に発足する府北部地域・大

車いすで展望台に登り天橋立の景色を楽しむ参加者(左)と介助者＝宮津市大垣・傘松公園

学連携機構のバリアフリー観光推進協議会が主催。龍谷大大学院の学生たちも同行し、車いす通行に不便な場所などを点検した。

この日は、公募に応じた京都市などの高齢者ら4人が参加。傘松公園では、ケーブルカーの乗降口が狭く苦勞することもあったが、介助者と一緒に展望台に無事到着し、天橋立の眺望を堪能した。

同協議会の川口佳菜子さん(41)は「介助者が同行する旅行スタイルを宮津でどう展開できるか考えたい」と話した。同会は来年2月にもツアーを計画中で、バリアフリーマップの作成も検討している。(榎原良)